

市民自治

子育て支援

安全・安心なまちづくり

経済・雇用対策

特に、子供を生み育てやすい環境づくり、市民自治、経済・雇用対策、安全・安心なまちづくりなどに重点を置きました

五月に補正予算を発表しました。
元氣ビジョンで挙げた五つの柱の中で、早期に着手する必要があるものを盛り込んでいきます

今後の計画は分かったけど、具体的には何をやるの？

補正予算額 約46億円

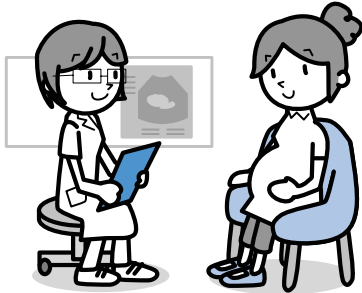
平成19年度 補正予算の主な内容

子育て、教育 子どもを生み育てやすく、健やかにはぐくむ街

1億円

妊婦健診の助成回数を拡大

妊婦健診の助成回数を、現在の1回から、政令市で最高の5回へ拡大します。出産予定日が来年1月以降の方が対象となります。



670万円

子育て支援をさらに充実

専門知識を持つ子育てアドバイザーを養成するとともに、子育てサロンを日曜に開催し、アドバイザーがスタッフとなります。

0円※

事業

自宅で保育士に相談できます

外出しづらい子育て中の家庭に保育士が出向き、相談に応じます。現在、中央・手稲区で試行的に実施しています。

子育てしやすい街に!

小さな子供が遊びやすい所なので、子育て支援総合センターをよく利用します。子供のアトピー治療の情報交換もできました。子育てについての相談場所をさらに充実させたり、すべての地下鉄駅にエレベーターを設置したりして、より子育てがしやすい街になってほしいです。



子育て支援総合センターを利用している
まぶち 馬淵 あゆみさん
いちろう 一朗くん

市民自治、経済対策 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

300万円

まちづくりセンターを地域で運営

地域の主体的なまちづくりをさらに進めるため、まちづくりセンターが地域で自主運営できるようにします。



まちづくりセンターは市内に87カ所

4,980万円

IT・バイオなどの企業を誘致

近年、急成長を続けるITやバイオなどの新産業。その関連企業の札幌進出に対して補助を行い、経済の活性化と雇用の拡大を図ります。

240万円

区民の意見をまちづくりに反映

区民からの意見をよりまちづくりに反映するための、新たな仕組みづくりを進めます。

※0円事業＝特に予算を計上せず、市役所内の資源(ヒト・モノ・カネ)を活用して行う取り組み